第23回



市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「持続可能な自治体を目指して」

「持続可能な自治体」というテーマをよく耳にします。持続可能な自治体にするための要件は様々ありますが、その一つに少子化に対する取組があると考えています。ここで一つ、本市の少子化を表す統計データを紹介しますと、令和８年の成人式では対象人数が 1,861 人、令和６年の出生数は 954 人でした。ちなみに団塊の世代以降のピークは昭和 47 年の 3,232 人です。数字を見るとちょっとショッキングに感じる方もいらっしゃるかもしれませんね。この状況のままで熊谷市は、果たして持続可能な自治体でいられるのでしょうか。そこで、熊谷市では人口減少にブレーキをかけるべく、次のような取組をしています。



くまキッズはオープン以来、大変にぎわっています。

令和７年度には、０～２歳児の保育料無償化が始まり、熊谷さくら運動公園にじゃぶじゃぶ池もオープンしました。また本年度は、産前・産後の相談機能の充実と 18 歳までの子どもの健全育成拠点となる施設として、４月に「くまキッズ」がオープンしました。また、生後１か月児の健康診査を、そして県内初の取組として、こども誰でも通園制度の保護者負担額の半額補助を開始しています。そして今、子どもたちの暑さ対策に加え、避難所としての機能も充実させるため、本年度から４年以内に、すべての小・中学校の体育館に空調設備が設置できるよう動き出しています。

以上は取組の一例ですが、そういったことが「子育てするなら熊谷市」というイメージにつながることを期待しています。これからも人口の自然増はもちろん社会増を目指す取組を継続し、持続可能な自治体となるよう努めてまいります。

市報クイズ

【今月のプレゼント】
「バナナリーフプレート」を3人にご提供します！

今月の問題 ○○に当てはまる言葉をお書きください。

熊谷の豊かな自然の恵みと、この地を未来へつなぎたいと願う作り手の情熱が息づく熊谷ブランド○○○○。

応募方法 【締切日】11/30(月)

①今月号の市報の感想 ②市報で取り上げてほしい内容 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦今月の問題の答え を必ず明記し、フォームまたはハガキでご応募ください。

送付先 〒360-8601
熊谷市宮町 2-47-1 広報広聴課
※ 当選者の発表は、プレゼント引換券の発送を持って代えさせていただきます。

9月号の正解

防災

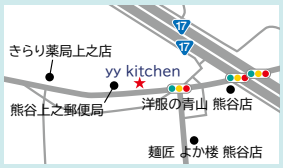
◆応募総数 243通中 正解229通

お店の紹介 (Instagram@yy.kitchen412)

yy kitchen（ワイワイ キッチン）







なぜか懐かしくなるスリランカカレー。優しい味付けを心がけて毎日一皿一皿作っています。この機会にぜひ食べてみませんか！

住　　所　熊谷市上之474-9
営業時間　11:30～15:00
定 休 日　日・月・火・祝

まちフォト



8/30 ラグビーポスター展 表彰式

ラグビーポスター展の入選作品が決定し、熊谷ラグビー場で最優秀賞と優秀賞を受賞した3人が表彰されました。



9/6 「埼玉武蔵ヒートベアーズ」2026シーズンが終了しました

熊谷市を拠点に活躍する「埼玉武蔵ヒートベアーズ」の2026シーズンは9チーム中3位で終了し、プレーオフではファイナルステージで敗退しました。応援ありがとうございました。



9/17 秋の全国交通安全運動 出発式が開催されました

秋の全国交通安全運動出発式が開催され、妻沼高等学校の生徒が一日警察署長を務めました。出発式終了後には、市役所前で街頭啓発も行われました。



9/19 熊谷ブランド「晴れまち」ライターデビューを目指して！

晴れまちライター入門講座が、アズ熊谷で開催されました。応募した16人へ向け、ローカルライフメディア「TURNS（ターンズ）」の堀口正裕（ほりぐちまさひろ）氏による基調講演やオリエンテーションが行われました。



9/29 熊谷女子高校へ短期留学！

姉妹都市インバーカーギル市（ニュージーランド）から、サウスランドガールズハイスクールの生徒たちが、熊谷女子高校に短期留学していることを報告するため市長を訪問しました。



9/30 熊谷西高校へ短期留学！

姉妹都市インバーカーギル市（ニュージーランド）から、ジェームズハーゲストカレッジの生徒たちが、熊谷西高校に短期留学していることを報告するため市長を訪問しました。

令和8年度インスタグラム共同投稿企画

市公式インスタグラムでは、熊谷市の魅力を届け、知って（再発見）、ファンになってもらうために、今年もインフルエンサーの方々との共同投稿を行っています！
今月号では、既に共同投稿をしている4人のインフルエンサーの方をご紹介。まだまだたくさんの方とのコラボを予定しています！順次投稿されますので、ぜひご覧ください。



儚（はかな）い雰囲気で写真を描く

櫻子

@sako_photo

「雪くまの映える撮り方」や「熊谷花火大会」の動画を、女性のモデルさんと共にオシャレに撮影。

※今年度中に、別の投稿も予定しています。







親子で埼玉のグルメやスポットをご紹介！

れんめん｜パパと子供の“埼玉グルメ”

@renmengourmet

「熊谷駅ナカで買える埼玉土産四選！」をテーマに、グルメ動画を親子で楽しくご紹介！

※今年度中に、別の投稿も予定しています。





心に残る景色を写真に。

Keigo Tatara

@ttr_photo_

「熊谷うちわ祭」を、昼の部・夜の部に分けて、様々な画角からかっこよく切り取り、心に残るすてきな写真に。







日本を旅する映像クリエイター

BOKU JAPAN

@boku_japanfilm

「熊谷うちわ祭」3日目のクライマックスの様子を、幻想的でスタイリッシュな1つの作品に。

※今年度中に、別の投稿も予定しています。



Follow me!

熊谷市公式Instagram

@kumagaya_city

広告

11/26(木) 平日開催 熊谷 地域みっちゃく生活情報誌® NAOZANE® 共催企画！

「女性のためのはじめてのマネーセミナー」 講師 桐生 諒一（上尾市出身）

相次ぐ値上げや老後の生活費など、「これからのお金が心配」という方も多いのではないでしょうか。
そこで年間700件以上の相談に携わり、テレ玉「マチコミ」内コーナーにも出演中のファイナンシャルプランナー・桐生諒一さん（LIFE WIZ代表）が「老後資金」「新NISA・資産運用」などについて、初心者さんにもわかりやすく解説します。希望者には、後日開催の無料個別相談もご用意。この機会にぜひご参加ください。

日 11月26日(木) 10:30～12:15（受付開始 10:15～）
場 男女共同参画推進センター「ハートピア」（ティアラ21 4F）
費 無料（先着20名様）※要事前予約、開始時刻の15分前受付開始
特典 ①グルメパスポート 2冊！
②個別無料相談（後日開催）

Family Stand A セミナー事務局
048-606-4787（10:00～17:00）

お申込はコチラから♪

発行日　令和8年11月1日

発行　熊谷市広報広聴課
TEL 048-524-1156（直通）

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

情熱世代

夢追い人

MOTEGI KEITA
ART DIRECTOR
GRAPHIC
DESIGNER



茂木（もてぎ） 敬太（けいた） さん
アートディレクター
グラフィックデザイナー
（大幡中学校出身）

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

自分の中にある「好き」をデザインに

自分が本当にやりたいこと

大学生の頃、目にする機会の多かったCDジャケットの多彩で独創的な表現に魅力を感じ、デザインの世界に興味を持つようになりました。

大学3年生になり、卒業後の進路を見据え「本気でデザイナーになりたい」と思い、大学に通いながら、デザインの専門学校に入学しました。

専門学校卒業後は、憧れていたアートディレクターのもとで音楽関係の仕事がしたかったのですが、その年はスタッフ募集をしておらず、コスメ関係をメインとするデザイン事務所に就職。パッケージや広告、Webサイトなど、デザイン関連の仕事をしていました。ただ、憧れのアートディレクターのもとで仕事がしたい気持ちは色あせず、面接の機会を得るため、これまで制作したデザインやオリジナル作品をまとめた作品集を何度も事務所に送りました。

今につながる経験

デザイン事務所に勤め始めてから数年後、面接を経て憧れのアートディレクターのもとで働くことができました。学生のときからの夢がかない、非常にうれしかったです。

入社後は、毎日終電の時間までデザインと向き合いました。業務に追われる日々でつらい時期でもありましたが、初めてのことばかりで、すべての案件が印象深く残っています。特に、学生の頃から好きだったアーティストと仕事をご一緒できたり、渋谷の大型広告の案件を担当できたりしたことは夢のような貴重な経験でした。このときの経験が今にもつながっています。

結婚後、子どもが生まれたことを機に、ソニー・ミュージックソリューションズに転職しました。ソニーでは、音楽以外にも様々な案件に携わりました。若手を指導する立場になり、それまで感覚でやっていたことを言語化して伝えることの難しさを実感しました。

こだわりを持ってデザインする

作品は、クライアントと打合せを実施し、方向性を決めてから制作に取りかかります。流行を取り入れつつオリジナリティを組み入れることをいつも意識しています。

アイデア出しは大変ですが、デザイナーをやっていて楽しいと思う瞬間でもあります。案件によっては深夜まで作業することもありますが、自分が好きなことを仕事にできているのでやりがいを感じますね。

作品が完成した達成感を感じるときや、ファンの方の反応をSNSなどで見かけたときは、この仕事が好きだなと再確認できますし、クライアントからデザインを一任されると、デザイナーとして信頼されていると感じてうれしく思います。

ずっとデザイナーを続けたい

現在は、これまでの経験をいかして、フリーランスとして熊谷で活動しています。住み慣れた地元で、家族との時間を大切にしながら、自分らしいスタイルでデザインの仕事を続けていきたいと思います。

この先もずっとデザイナーを頑張ろうと考えているので、応援よろしくお願いします。



茂木さん個人のインスタグラム　茂木さんの作品（一部）

土曜開庁の情報は下記コードからご確認ください。

人口と世帯 ※10/1現在（対前月比）

■ 人口	189,217人	(-35人)
■ 男	94,668人	(+5人)
■ 女	94,549人	(-40人)
■ 世帯	92,336	(+87)

お問合せ・講座などの申込先

■ 熊谷市役所本庁舎	〒360-8601	宮町2-47-1	048-524-1111
■ 大里行政センター	〒360-0195	中曽根654-1	0493-39-0311
■ 妻沼行政センター	〒360-0292	弥藤吾2450	048-588-1321
■ 江南行政センター	〒360-0192	江南中央1-1	048-536-1521

「市報くまがや」11月号は、73,500部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり24円です。